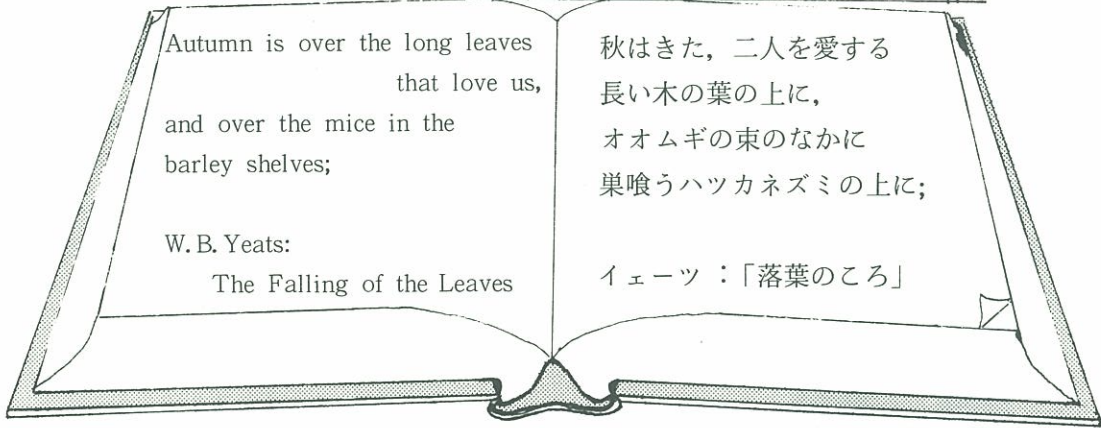


図書館だより

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library



目次

私の出会った本

閑想談

開架図書コーナーの拡充について

新着図書案内 ▼書評

経済学関係

法学関係

工学関係

教養関係

孟子曰く

有名になるなら映研が一番

レファレンス・コーナー 文献解題

欧文和語 3 「Fun College」

キーワード 『安全産業』

質問に答えて

エアメール (6)

『イギリスの教育における自由と階級性』

マイクロコスモス

『ピカソとカタロニア』

高岡 周夫
佐藤 卓司

大村 泉

池田 粂男

寺田 米男

葛西 忠

林 孝俊

橋場 千誉

布施 英憲

熊谷 和夫

木津 隆司

編集後記

統計学の古典と私

経済学部教授 高岡 周夫

遺伝学、優生学、統計学など、幅広い研究で優れた業績を挙げたフランシス・ゴルトンの名著「遺伝」(Natural Inheritance)は、その道の古典として高く評価されている。この原典が、日本に三冊あるということ、学生の頃から聞いていた。

戦時中に、シンガポールに立寄った時、その地の図書館に一冊、保管されていることを知った。予想通りだった。また、ラングーン大学の図書館を尋ねた。図書館の内部は破壊され、広い館内は、足の踏場もない程、多くの図書が散乱していた。日本軍の占領下で、兵士達が、競って皮表紙の豪華本を引出し、その皮で財布を作ったと聞いている。当然に、保管されていると考えられる書

籍が、探すことすら出来ない状況に置かれていたのは、残念だった。

終戦後、日本に帰り、北大図書館から、右の書を借出し、長らく利用させて貰った。独占も気になり、火災に遭っても良くないので、返却手続をとった。その後暫らくして、借出しに行ったところ、保管されていない。その間の事情は知る由もない。古本屋を尋ねたが見当らなかった。

今ならば、コピーで容易に手に入るものを、幸に、タイプに写していたので助ったが、貴重な文献が無くなるのは、残念である。

(たかおか かねお・経済統計学)

閑 想 歓 談

教養部助教授 佐藤 卓司

私達大学で教育していると、書いたり話したりすることよりも、読書にあてる時間が随分多いのに少しは驚かないだろうか。このことは学生のみなさんであればある程、それ程驚きはしなくとも納得いくはずのものでしょう。講義に出て要点を要領よくまとめてノートにとったり、ゼミの予習に関連の参考書、資料集を参照しながら自分の考えをまとめたりする習練^{しゅうれん}以外に、学生の方々は就職試験用の問題集と真剣に取りくまざるをえなくなるでしょう。学校の授業で体得した基本に従って、いろんな応用力が要求される試験は、やはり先生や先輩の適切明

快な助言をおろそかにすることなく、自分自身による自分のための補講の形で準備していく時間を強制していることになるでしょう。本学の学生諸君は、それなりの勉学の結果現在の状況にいることは言うまでもないが、こういう状況選択はみなさんの高校時代の努力の結果であり、みなさんの将来の就職先は、大学時代の効果的勉学いかんにもかかっていると思われます。そういう意味でもっと図書館を利用されたらいかがでしょうか。

(さとう たくじ・フランス語)

開架図書コーナーの拡充について

— 拡充前後の比較検討 —

従来、開架図書コーナーの本が少ないという利用者の声が聞かれました。この声に対応すべく、今回、開架コーナーの質的、量的な拡充をはかりその際、次の点に留意して、開架コーナーをより使い易くなるように改善いたしました。これで十分な対応がなされたとは思いませんが、かなり、改善されたことが、その後の貸出冊数の増加ぶりからも確かめられます。

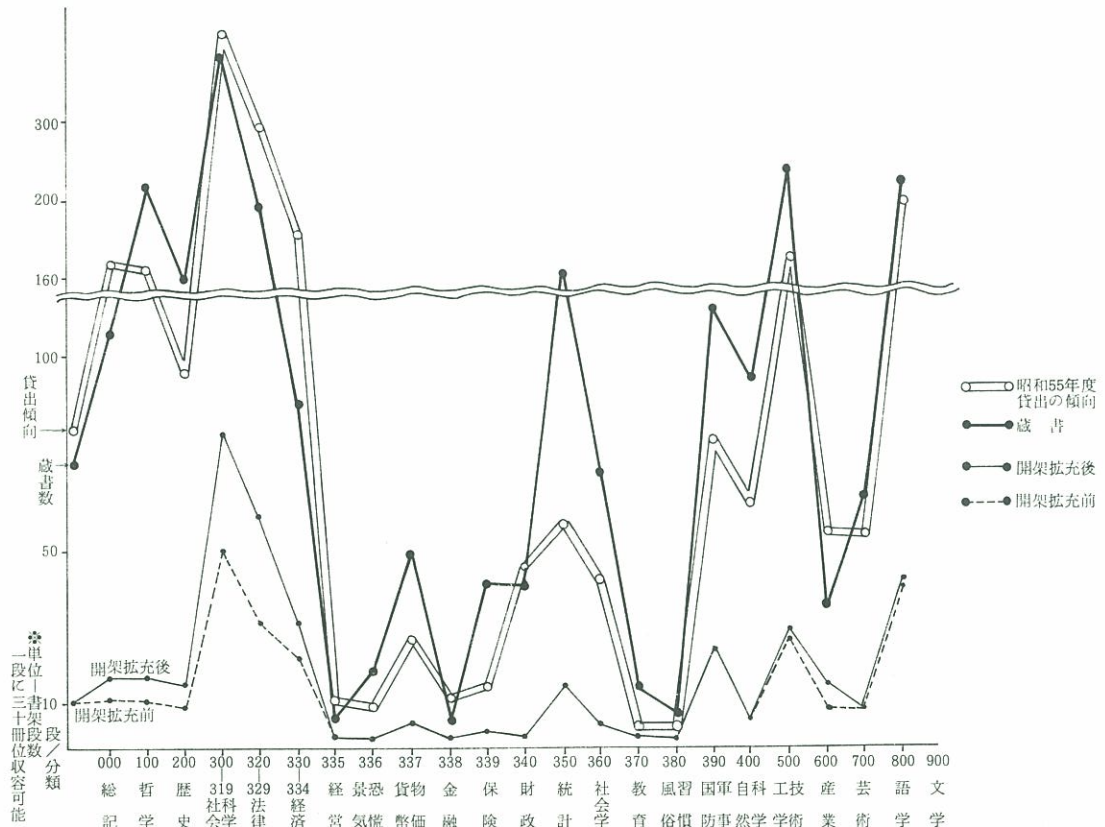
改善その1 開架図書増加冊数 3,000 冊
計 10,000 冊

その2 ①分類別の利用率に見合った適正な冊数の排架（特に法律、経済、経営関係の増冊数が著しい）

② ④学生の利用頻度の高いもの
⑤新刊書

など、今迄スペースの関係で開架コーナーに出ていなかった図書についても出すことができたのでご利用ください。

表：開架拡充前後の分類別比較及び蔵書と貸出傾向の比較検討のための資料



新着案内

経済関係

(昭和56年8月以降に整理された学生用図書の一部です)

- マルクス主義的価値論のために A. ヘラー著 1980 335.3 G43
 良知力 小箕俊介訳 法大出版会 1980 117 H51
- 都市と社会的不平等 D. ハーヴェイ著 竹内啓一 松本正美訳 日本ブリタニカ 1980 290.17 H34
- 社会主義の新たな展望 1 2 R. バロー著 永井清彦他訳 岩波 1980 363.01 B14
- 日本の使用者団体と労使関係—社会史的研究— 間宏著 日本労働協会 1981 366.06 H49
- 成長の社会的限界 F. ハーシュ著 都留重人訳 日経新聞社 1980 331.39 H75
- 経済の英語 寺沢浩二著 研究社 1980 330.7 Te62
- 西欧世界の勃興 D. C. ノース, R. P. トマス著 速水融 穂本洋哉訳 ミネルヴァ 1980 332.3 N96
- アメリカ経済史の基本問題 鈴木圭介著 岩波 1980 332.53 Su96
- 世界経済論を学ぶ 森田桐郎 本山美彦編 有斐閣 1980 333.6 Mo66
- 欧州共同体 戸崎徹著 成文堂 1980 333.6 To97
- 資本主義世界の成立 藤瀬浩司著 京都 ミネルヴァ 1980 333.9 F66
- 対訳資本主義の世界的危機 P. M. スウィージャー著 岸本重陳編訳 TBS ブリタニカ 1980 333.9 Sw4
- 世界のなかの日本資本主義 柴垣和夫編 東洋経済新報社 1980 333.91 Sh15
- 財閥の経営史的研究 森川英正著 東洋経済新報社 1980 335.28 Mo51
- 転換期の日本企業 儀我壮一郎著 同文館 1980 335.3 G43
- 企業家精神と経営戦略 J. E. フラハティ著 中村元一 大河内信司訳 日本能率協会 1980 333.5 F31
- 金融恐慌は再来するか C. P. ギンドルバーガー著 吉野俊彦他訳 紀伊國屋 1980 336.9 Ki42
- 円高・円安日本経済への影響 島野卓爾 荒木信義編 有斐閣 1980 337.21 Sh43
- 日本のインフレーション 安井修二 唄野隆 安居洋訳 有斐閣 1980 337.91 Y64
- 両大戦間における金融構造 朝倉孝吉著 御茶の水書房 1980 338.21 A85
- M資金 高野孟著 日経新聞社 1980 338.21 Ta47
- オイルダラーの内幕 北田一男 林原和彦著 ダイヤモンド社 1980 338.9 Ki62
- 大企業会計史の研究 高寺貞男 醍醐聡著 同文館 1979 679.01 Ta55
- ◇=◇=◇=◇= エコノミスト ◇=◇=◇=◇=◇
 ◇ 日本ドイツ民主共和国友好協会編 ◇
 ◇ 『社会主義のドイツ』 ◇
 ◇ — その社会と文化 — ◇
 ◇ 大月書店 1981年4月刊 ◇
 ◇ 本書は「日本ドイツ民主共和国友好協会」の ◇
 ◇ 会員数十氏の直接的な見聞に基づくドイツ民 ◇
 ◇ 主共和国(東ドイツ)の紹介である。ここ20年 ◇
 ◇ 間のコーヒー一杯の価格から、各大学の沿革ま ◇
 ◇ で本書が紹介する同国の国情は多岐にわたる ◇
 ◇ が、出発点における不利な条件にもかかわらず、 ◇
 ◇ 面積では日本の3/1以下、人口では6/1 ◇
 ◇ 以下のこの国が、既に世界の十大工業国の一 ◇
 ◇ つに成長し、しかもこの国では労働者の実質 ◇
 ◇ 賃金は年々4~5%着実に増大しているとい ◇
 ◇ うのは、時節柄特に注目されてよいであろう。 ◇
 ◇ (大村泉 経済学部助教授) ◇
 ◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇=◇

政治学のことば 堀江湛編著 日本放送出版協会
1980 311.1 H87

政治学序説 田畑忍編 法律文化社 1980
311.1 Ta11

ヨーロッパ政治思潮史 原田鋼著 御茶の水書房
1980 311.23 H32

民主主義からナチズムへ R. ヘベルレ著 中道
寿一訳 御茶の水書房 1980 311.9 H51

ファシズム — その比較研究のために — 山口
定著 有斐閣 1979 311.9 Y24

戦後政治裁判史録 1—5 田中二郎 佐藤功
野村二郎編 1980 312.1 Se64

ドイツ社会民主党とカウツキー 山本佐門著 北
大図書刊行会 1981 315.34 Y31

政治学と民族・植民地問題 川端正久著 法律
文化社 1980 316.8 Ka91

国際関係論 J. フランケル著 田中治男訳 東大
出版会 1980 319 F44

日本の1930年代 — 国の内と外から — 三輪公
忠編 創流社 1980 319.1 Mi68

◇◇◇◇◇ ジュリスト ◇◇◇◇◇
浦野雄幸著『要点民事執行法』
商事法務研究会 昭和56年2月刊
三ヶ月章著『民事執行法』
弘文堂 昭和56年3月刊
昨秋施行された民事執行法に関して、数少
ない体系書の中でも、対照的な二点である。
前者は、立法者として昨年正月に本学で特別
講演をされた実務家の著。項目も文章も簡略
で、ひな型・図表等をとり入れ、目下、合理
化された最高度のもの。後者は、新法の内容
と立法技術上の主要問題を如実にした。学者
による批判的な書で、これ以上に詳述された
体系書は、まだない。本学図書館に所蔵。
(池田桑男 法学部助教授)

現代日本の立法過程 渡辺久丸著 法律文化社
1980 320 W46

法哲学 — 法の二元的構造 — J. ヨンパルト
金沢文雄著 慶應通信 1971 321.1 L76

英米法の諸相 田中英夫〔等〕編 東大出版会
1980 322.93 Ta84

憲法における法と政治 小林孝輔著 三省堂
1980 323.01 Ko12

現代議会制の憲法構造 清水睦著 勁草書房
1979 323.01 Sh49

人権の歴史と展望 下山瑛二著 法律文化社
1980 323.01 Sh55

イギリス土地法 — その法理と歴史 — F. ポ
ロック著 平松紘訳 日本評論社 1980
323.98 F25

夫婦の法律 太田武男著 第3版 有斐閣
1980 324.6 O81

刑法における正当化の理論 曾根威彦著 成文堂
1980 326.1 So42

講述犯罪総論 中義勝著 有斐閣 1980
326.3 N31

西独刑法改正論争 J. バウマン編 西原春夫 他
監訳 1981 326.94 B28

ジャスティス — 裁判における人間疎外の問題を
めぐって — 横川敏雄著 日本評論社 1980
327 Y76

証拠法の再構成 石田穰著 東大出版会 1980
327.62 I72

社会保障行政法 園部逸夫 田中館照橋 石本忠
義編 有斐閣 1980 364.3 So44

中国紅軍史 宍戸寛著 河出書房新社 1979
392.22 Sh91

新着案内 工 学 関 係

- 調査分類データの解析法 G. J. G. アプトン著 池田央他訳 朝倉書店 1980 350.1 U79
- 建築構造物の振動実験 日本建築学会編 同編者 1978 501.24 N77
- 直交異方性体応力問題の新解析法 佐藤常三著 現代工学社 1974 501.32 Sa85
- マトリックス構造解析 W. マクレガー R. ギャラガー著 藤谷義信他訳 丸善 1981 501.34 Ma15
- 最適化手法の構造設計・解析への応用 日本鋼構造協会編 1980 501.34 N77
- 新しい材料の事典 日本材料科学会編 共立出版 1980 501.4 A94
- システム工学 室津義定〔等〕著 森北出版 1980 506.6 Mu76
- 鉄筋コンクリートの応力計算法 山田伴次郎著 理工図書 1980 510.3 Ke51
- 鉄筋コンクリート設計の基礎 岸本進 嵯峨見著 理工図書 1978 511.7 Ki58
- 土木施工計画データブック 上 中沢式仁〔等〕編 森北出版 1980 513.03 D81
- 新示方書によるわかりやすい橋梁設計計算例及び解説 足立洪他著 工学出版 1980 515.1 A16
- コンクリート工学演習 西沢紀昭 小林一輔著 学献社 1979 511.7 N87
- 港湾工学 永井荘七郎著 オーム社 1980 518.01 N14
- まちづくりと歩行空間 今野博著 鹿島出版会 1980 519.8 Ko75
- 日本建築史基礎資料集成 4 仏堂1 中央公論美術出版 1981 521.08 N77
- 日本の建築——明治・大正・昭和——9 ライトの遺産 三省堂 1981 520.08 N77
- ヨーロッパの名城 井上宗和著 新入物往来社 1978 523 I57
- 建築の構造——その事故と災害—— 鷲尾健三他著 丸善 1978 524.1 W44

◇◇◇◇◇ テクノロジスト ◇◇◇◇◇

30年前の学生時代の読書

私は終戦の翌年に旧制高校（北大予科）に入学しました。当時は新刊書は殆んどなく古本も容易には入手できませんでした。工科系の学生でしたが、文学書を乱読したものです。多くの本のなかで今でも最も強く印象に残っているのはドフトエフスキーであります。「罪と罰」などが好例で哲学書では西田幾多郎の「善の研究」なんかも忘れることができません。専門書となると思い出が少いのですが高木貞治の「解析概論」、池田芳郎先生が教科書として使われた著書などが手応えがありました。昭和20年代前半頃の思い出であります。

（寺田米男 工学部教授）

- 小規模鉄骨造建築物設計・施工指針 別冊 鋼材倶楽部編 技報堂 1980 524.6 Ko98
- 新耐震設計法 大島巖著 テクノ 1979 524.91 O77
- 設計と工事管理の計量的手法 J. H. ウッドワード著 古川修他訳 森北出版 1980 525.1 W86
- ビルの管理——その理論と実例—— 小林清周著 森北出版 1975 525.8 Ko12
- 伝熱工学資料 日本機械学会編 同編者 1975 533.1 N77
- ポスト・エネルギー 一色尚次著 思想社 1980 533.4 I85

- 思想をどうとらえるか 中村元著 東京書籍 1980 102 N37 共立出版 1980 414.8 L14
- 人間機械論の哲学 坂本百大著 勁草書房 1980 114.2 Sa32 多次元尺度法 高根芳雄著 東大出版会 1980 418.8 Ta46
- 無意識の発見 上・下 H. F. エレンベルガー著 木村敏 中井久夫監修 弘文堂 1980 146 E48 時間の物理学 P. C. W. ディビス著 戸田盛和田中裕訳 培風館 1979 421 D46
- 精神分析における象徴界 G. ロゾラート著 佐々木孝次訳 法政大学出版会 1980 146 R72 大学演習物理化学 吉岡甲子郎 萩野一善著 裳華房 1979 431 Y92
- 宗教の人間学 谷口茂著 東大出版会 1980 160.1 Ta87 環境植物学 田崎忠良編著 朝倉書店 1978 471.7 Ta99
- 祖先崇拜の論理 M. フォーテス著 田中真砂子訳 ぺりかん社 1980 163.56 F39 エネルギー — 総合科学的アプローチ — 小出昭一郎他著 培風館 1977 501.6 Ko29
- 現代におけるイスラム W. C. スミス著 中村広治郎訳 紀伊國屋 1979 167 Sm5 フランス語の基礎 照木健著 白水社 1980 855 Te76
- 歴史研究と階級的契機 中央大学経済研究所編 中央大学出版部 1980 201 C66 近代文学をどう読むか 中村光夫著 新潮社 1980 910.1 N37
- ヨーロッパとは何か F. ジャボー著 清水純一訳 サイマル出版会 1961 230.1 C33 四つの四重奏曲 T. S. エリオット著 森山泰夫注解 大修館 1980 931 E46
- 好きな日本人 嫌いな日本人 P. ボネ著 三天書房 1980 302.1 B64 海も暮れきる 吉村昭著 講談社 1980 913.6 Y91
- 日本人の日本知らず P. ミルワード著 別宮貞徳訳 青春出版 1980 302.1 Mi29
- 心の社会・日本 L. ストゥツキ著 大串紀代子訳 サイマル出版会 1980 302.1 St9
- 物の体系 — 記号の消費 — J. ボードリヤール著 宇波彰訳 法大出版会 1980 361.1 B28
- 知識階級 T. ガイガー著 鈴木幸寿訳 玄海出版 1953 368.4 G32
- 教育からの経済 石部公男訳 学文社 1980 371.3 I72
- 数学的発見の論理 E. ラカトシュ著 佐々木力訳

◇◇◇◇◇ ユ マ ニ ス ト ◇◇◇◇◇

|| 沢木耕太郎著 ||

|| 『敗れざる者たち』 ||

|| 文芸春秋社 昭和52年1月 ||

|| 深く心をうたれる読み物は数少ないものであ ||

|| る。その数少ないものの1つがこの作品だと私 ||

|| は思う。これは、フリーの若きルポライター ||

|| である著者が5年間にわたって書き続けたド ||

|| キュメントであり、著者の言う「勝負の世界 ||

|| に何かを賭け、喪っていった者たち」という ||

|| 主題に沿った。6篇の作品からなっている。 ||

|| 感動的で美しく、心温まる文章が数多く、人 ||

|| 間について、人間の生き方について、そして ||

|| 自分自身について深く思いめぐらす機会を与 ||

|| えてくれる、すぐれた作品である。 ||

|| (葛西忠 教養部教授) ||

◇◇◇◇◇

孟子曰く

The pupil is there to learn

(学生の本分は学ぶことにあり)

経済学部・経済学科4年 林 孝 俊

紀元前4世紀、中国の孟子は “The pupil is there to learn” という言葉を我々に残していった。今、我々がこの孟子の言葉を素直に受けとめるなら、まさに、我々の本分は学ぶことにあり、といえるようです。

ところで、学園大生は、日頃、図書館をどのように利用しているのでしょうか？ 例外的な現象として、9月と2月の2ヶ月間は、我々の情報収集・情報交換の場として、その機能を発揮するものそれ以外は、何人かの人が暇つぶしに新聞を読みにくるといった具合で、館内には静かな空気が流れています。

我が大学の図書館には、大部分の図書が書庫内にあることから、直接手にとって検索することのできる本が限られてしまうという最大の欠陥があるものの、この欠陥も、我々の希望する本を見つ

けだすことに協力してくれる親切な館員さんがいることで、いくらか解消されています。

今や、学園大生は、その人間性が社会に認められてきているようで、まことにうれしいこととあります。ある雑誌で“学園大生はスキノの王者”と記載されていたのを目にしたことがあります。また、短大生の間では“センスの学園”という言葉まで生まれたようです。これらの良否は別として、我々学園大生は、知識の面でも、その名を連ねる必要があります。夜の探究のみならず、知識の探究にも、青春のエネルギーをぶつけることが必要なのです。そのためにも図書館は、恰好の場であり、自分に磨きを加えるためにも、不可欠な場であると私は考えています。

“名ばかりの大卒では、生きてゆく資格がない。”といえそうです。!!

映研^秘レポートNo. 0

有名になるなら映研が1番

法学部2年 レポーター 橋 場 千 誉

映画研究会は、今年の1月に同好会から研究会になりました。とは言っても発足以来7年と歴史があるのです。そして、その間、私を含めて数々の有名名人を世に送りだしているのです。

映研の活動は、いったいどのようなものであるのかと申しますと、8mm映画の制作というのが一番大きな活動です。今までに制作した作品は、十数本にもなります。年々、作品も私たちの技術の向上に伴って、良いものに少ずつづですがなってきました。

昨年は、須貝で行なわれた自主制作映画のコンクールにおいて、堂々の2位に輝きました。

今年は、2本の8mm映画を制作することになり、6月から始った撮影もほぼ完了してあとは映画製作で最も重要な編集と録音とを残すのみで夏休みの終る頃までには、2本とも完成するでしょう。この出来た作品をみなさんにも見ていただき

たいと思います。

たぶん、10月祭には観ることできると思います。しかし、自分たちの手で、何かを作り上げるといのは、とても素晴らしいことだと思うし、それがフィルムという形で何年間も映研が続く限り、残っていくことを、思うと、すごくうれしい気持ちでいっぱいになります。

ただ、我々は、自己満足映画ばかりを制作しているわけではありません。毎年、文化協議会主催の地方公演にも同行していき、地方公演の記録映画をも制作しています。

そして、この記録映画が文協に年々重要視されるようになってきているので、我々の方も今までより真剣に取り組まなければいけないと思っています。最後にこの大学でいいものといえば、図書館と映研ではないでしょうか。

レファレンス・コーナー

- | | |
|---|--|
| <p>世界図書館年表 古代～1970 佐野捨一編
1010.32 Sa66</p> <p>日本宗教史年表 笠原一男編 160.21 Ka71</p> <p>年表世界史 全4巻 J. ドウロルム著
203.2 D55</p> <p>世界史年表 日比野丈夫編 203.2 H54</p> <p>近代日本総合年表 岩波書店編集部編
210.03 I95</p> <p>標準日本史年表 児玉幸多編 210.03 Ko18</p> <p>日本歴史年表史 奥野彦六著 210.03 O56</p> <p>今日の歴史こよみ 大山操編 210.03 O95</p> <p>北海道史年表 北海道史料編集所編 211 H82</p> <p>樺太基本年表 北海道総務部編 211 H82</p> <p>年表北海道の百年 北海道総務部編 211 H82</p> <p>新考北海道史年表 奥山亮著 211 O57</p> <p>幕末外国人の見た北海道年表 高倉新一郎著
211 Ta38</p> <p>支那歴代帝王年表 斉召南著 222.01 Se17</p> | <p>索引政治経済大年表 年表編 上・下 東洋経済
新報社編 303.2 To92</p> <p>国際主要事項年表 外務省情報文化局編
319.032 G15</p> <p>日本刑罰史年表 重松一義著 326.4 Sh28</p> <p>世界経済年表 大阪商科大学編 330.32 O73</p> <p>戦後日本経済政策史年表 松尾弘 山岡喜久男編
333.03 Ma78</p> <p>信用金庫史関係年表 澄川秀雄著 338.73 Su61</p> <p>理科年表 東京天文台編 403.2 To46</p> <p>日本美術史年表 源豊宗編 702.1 Mi38</p> <p>近代体育スポーツ年表 岸野雄三〔等〕編
780.2 Ki58</p> <p>明治大正俳句史年表大事典 大塚毅編著
911.303 Me25</p> <p>近代文学評論年表(近代文学評論大系10)
914.6 Ki42</p> <p>年表英米文学史 笠原勝朗編 930.2 Ka71</p> |
|---|--|

文 献 解 題

外来語辞典

“外来語”について、広辞苑では次のように定義しています。「外国語で国語に用いられるようになった語」。つまり、外来語とは、既に深く日本語に混り合っている漢語と大和言葉を除いたものを指し、この日本に入った多くの外来語のうち、80%ぐらいは英語からのものです。

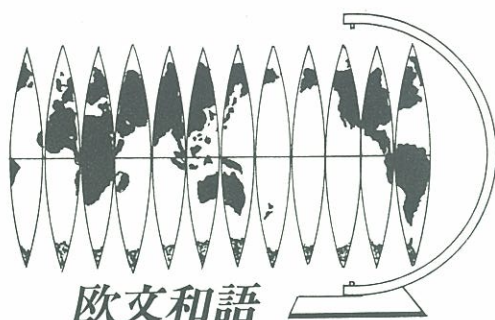
また、外来語は、従来、国語学者が正面から扱おうとせず、やや継子扱いをされてきました。

「外来語の辞書は、金田一・小倉両氏が先輩上田・高楠等諸先生の下で、アイヌ語・朝鮮語、或いは西洋系統の語を調べ、始めて「日本外来語辞書」を作り三省堂から出版されたが現在は絶版になっている」と新村出著「日本の辞書の現実と理想」にある。このように、大正のはじめには外来語の問題は国語学者によって取りあげられたわけですが、その後の外来語研究は、市川三喜、荒川惣兵衛・棋垣実などの英語学者によって行なわれています。いま日本の外来語辞書は一種の新語辞書と

して使われたり、じつに多くの外来語が耳目に入る現在、そのカタカナ言葉の原語は何か？ たえず私たちに疑問を起させます。その点で外来語辞典は便利です。また「ゼッケン、運動選手の胸につけるゼッケン、あれはどんな綴りですか？」など私たちが日常よく問いかけられる質問に答えてくれます。この質問について、荒川惣兵衛「外来語辞典」角川書店刊をみると、次のように出ています。ゼッケン〔ドイツ Zeichen〕マーク、サイン、証、バッジ、特に、競技大会のとき、選手が胸や背などにつけ 国旗、番号を書いたマーク。(後略)

現在、外来語辞典はかなりの数が出ていますが代表的なものとして、小型本では「コンサイス外来語辞典」三省堂、1972。中型の辞典では、荒川惣兵衛「外来語辞典」角川書店、1967。棋垣実「外来語辞典」東京堂、1966、増補版、1972。上記外来語辞典につきましては、当館でも所蔵しておりますので御利用ください。

Fun College



欧文和語

(3) ENGLISH

教養部 助教授
布施 英 憲

この15年間に、大学生人口は急激に量的拡大をとげ、200万人を超える学生が、約1,000近くの大学・短大に在籍しているのが、今日の日本の高等教育の現状である。このような大学の大衆化に伴って、戦前のような専門型学生とは、全く異なった価値観、態度、行動を取る、新しいタイプの学生が登場してきた。当然、このような学生を受け入れる大学の側にも、新しい型の大学が生まれ、大学も多様化の時代に入った。

米国のある教育学者によれば、現代の大学はいくつかの類型に分けられるという。その1つは、アカデミック型大学で、積極的に勉強し、知識志向の強い専門型学生が主体をなし、大学院への進学者も比較的多く、職業を目指す、職業型大学ほどに直接的ではない大学。次は、職業型大学である。これは高学歴や最新の技術・技能を身につけて、就職を少しでも有利にしたいという、職業志向の学生が主流の大学。就職のための大学だから、ゼミを欠席しても、就職ガイダンスには必ず出席する。第3の型は教養型大学。在学中は、適当に勉強もし、教養らしきものを身につけたつもりになり、又カレッジ・ライフも十分 enjoy し、大学の卒業証書をもって卒業する学生が主体。

最後が、お遊び型大学 (fun college) である。これは青春を謳歌し、カレッジ・ライフを十分に enjoy する学生が主流。ヒマとカネを持ち、主な関心事はデート、車、酒等々。講義や大学の教師には全く関心がない。それでも、大学の卒業証書だけは、手に入れて大学を去りたいと願っている。以上、4つの型の大学があると言うが、実際は、これらの4つの型の混合した、ミックス型大学の多いのが、日本の大学の現状ではないか。しかしながら、“fun college” というニック・ネームだけは戴きたくないものである。

所で、大学の大学の大衆化の大波は、大学教師の所にも押し寄せてきているのではないか。今日では、大学教師は11万人もいる。戦前の旧制中学の教師の数よりも、否、戦前の大学生の数よりも多いそうだ。なるほど、今日は多様化の時代だと言うが、最近では、大学教師の職能も驚くほど多様化した。以前の「研究者型」教師、「教育者型」教師、「管理職型」教師に加えて、テレビで毎日お目にかかる「マスコミ型」教師、「講演タイプ」の教師。更には、「企業顧問タイプ」、「予備校専任タイプ」等々。まさに、大学の多様化の時代である。

(ふせ ひでのり・英語学)

キーワード

安全産業

日本では古くから守衛さんが官公庁・学校・会社等の警護にあたり、また夜には夜警さんが火事や盗難などの警戒に当たっていたが新しい職業として、昭和37年にガードマンの会社として、官公庁・会社、あるいは個人等からの依頼により警備や警護を主たる業務として警備会社が誕生した。

現在では「安全を売る」新しい産業として急速に成長し、その市場も年間5～6千億と言われ、

これからは我国の花形産業になるのではないかと言われています。

今では全国に約2,700の警備会社があり、その警備もガードマンから、依頼先に設置した電子機器による警備へと変わり、また海外進出も盛んに行われているそうです。



質問に答えて

Nさんの質問

国内で現在出版されている雑誌について調べるにはどんな資料があるか？

回答

提供資料とその解題（本学に所蔵しているの中から次の文献を選んだ）

1. 日本雑誌総覧 1979年版（ほぼ3年毎発行）出版ニュース社 1979年 739頁
日本で出版されている和文雑誌を網羅的に収録したもので、あわせて「発行所名簿」「雑誌名索引」を付している。
027.5 Sh99
2. 出版年鑑 1979年版（年刊）出版ニュース社 1979年 1768頁
第1編から第6編に分かれていて、その中の第3編が雑誌目録で1年間に出版された市販雑誌を網羅的に収録している。巻末には1978年中の「創刊誌」「復刻記」「改題誌」「発行変更誌」「休廃刊誌」「主な海外雑誌」の項と雑誌名索引が付されている。 025.105 Sh99

3. 納本週報 逐次刊行物の部 国立国会図書館 週刊

国立国会図書館が受け入れた国内出版物の週刊速報。市販出版物以外に官公庁の出版物が収録されている。

Oさんの質問

アメリカの新しい大学像について知りたい。あわせて名称、所在等も知りたい。

回答

1. 日本と外国の諸大学改革集（大学問題総資料集）3 田畑茂二郎他3名編 有信堂 昭和46年 512頁 377 D16
諸外国における各大学改革の動向と大学問題に関する内外の資料を網羅的に収録している。
2. 世界の大学改革 大学改革研究会編 昭和45年 306頁 377.9 D16
3. この他に本学に所蔵していないが、「アメリカ大学要覧」「アメリカ大学一覧」等、情報を提供した。



イギリスの教育における自由と階級性

教養部教授 熊谷和夫

イギリスの学校は多種多様で6・3・3制の日本からみれば、理解しにくい。しかも、この10年の間にも事情は刻々変っている。下級学校と上級学校は、一応、日本の初等、中等教育に対応するが、内容が複雑で、新しい制度として両者にまたがるものも増えてきている。

イギリスは、私立学校も2,300と多く、その典型はパブリック・スクールで460ほどある。これは原則として男女別学、個室付きの全寮制で、授業料もべらぼうに高い。庶民には縁のない上流階級の学校である。

イギリスにおける多様な学校制度は、いわばイギリス教育の顔ともいえるべきもので、たがいに似ないところで、個人の自立と伸張に力をそそいでいるのである。

1944年の教育令以来、教育科学省は、地方教育行政や教育現場にたいする権力的干渉を止めて、その自主的な運営に委ねている。ただ、宗教教育と体育を義務づけているにすぎない。教科書も自由出版で、もちろん検定制度はない。

イギリスには100社以上の教科書会社があるとされるが、内容はあまり似ていない。

教科書の自由出版の背景には、学校の教育内容の自由裁量権がある。学校独自で、学科目を決定できるので、この点でも、学校の特色を打ち出せるわけである。授業形態も、日本のように一斉指導は少なく、個別指導が原則である。教師の自主独立の権利が絶対的に保証されているので、最終的には個々の教師の判断が優先する。

しかし、イギリスの社会には、労働者階級と中流以上の層との間に断絶があるように思われる。イギリスでも、どの学校を出たか、どんな資格をもっているかが、つねに本人につきまとう。表面的には、教育の機会が保証されているように見えるが、教育機会の内実は出身階級によって左右される。

それにしても、イギリスの教育は、日本にとって、もっとも遠い存在なのである。

（くまがい かずお・教育心理学）



ピカソとカタロニア

—ピカソ生誕100年にあたって—

教養部教授 木津隆司

地中海ぞいにフランスに入ろうとした私は、スペイン貨幣を使い切ってから国境を越えようと、自動車道路に並んだおみやげ屋の一つに入った。その時、民芸調陶器皿に絵付された地中海にも似た群青色を中心とした鮮やかな色彩と大胆な図柄の氾濫に圧倒され、ここがピカソ、ミロ、ダリを育てた、スペインはカタロニア地方であることを改めて思い知った。

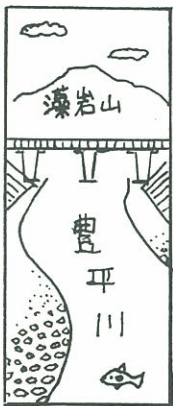
バルセロナを中心として、ピレネー山脈の地中海寄り稜線を一辺とする、関東地方ほどの広がりを持つ三角地帯は、古来カタロニアと呼ばれ、豊饒で明るい地中海と不毛で荒涼とした内陸との接点にある地理的位置と、カルタゴとローマ、イスラムとヨーロッパ、スペインとフランスといった二大勢力の間隙で独自性を保った歴史、素朴ではあるが生命力が心に迫る中世カタロニアのロマネスク美術のような文化を背景に、『私はスペイン人ではなくカタロニア人だ』と自負し、かたくなにカタロニア語を保持し、スペイン内乱の最後までフランコに抵抗した土地柄なのである。

最近カタロニアの人々は二人のパブロの死を悲しんだ。共に国外にあってカタロニアを愛し、市民権を持ち続け、フランコの影がなくなれば帰国すると宣言していた、ピカソとカザルスカザルスの死をである。1974年の4月の朝、バルセロナのピカソ美

術館の玄関には『全世界と共にパブロ・ピカソの死に悲しみをあらわす』とカタロニア語で書かれた追悼文が、写真と共に飾られていた。

パブロ、ピカソは、イベリア半島南端のマラガに生まれたが、工芸学校の教師であった父親の放浪の結果、バルセロナで成長することとなる。今世紀の初め、この町のカタロニア広場の路地裏に『四匹の猫』という芸術家たちの集まるカフェがあった。近代芸術を否定する新しいものへの不安と期待の渦まく熱気の中に若きピカソの姿も見られた。そこでピカソは多くを学んだ後、自己陶酔的バルセロナの雰囲気に見切りをつけ、地中海とカタロニアへのこよなき愛情を懐きつつパリへと旅立った。それは、ピカソの『青の時代』の二年前、近代絵画にとどめを刺した『アヴィニヨンの娘たち』の七年前のことである。その後91歳で没するまで、ピカソは現代芸術の最前線をエネルギーに走り続けるのであるが、その作品に見られる知的明澄さと全身を焼きつくすような生命の躍動という二律性、無節操とも見える変身の連続、それらはカタロニアという風土が与えたものであろう。そして今年がピカソ生誕百年記念。フランコの影のなくなったカタロニアに、今ピカソの魂は喜んで帰って来ているに違いない。

(きづりゅうじ・歴史)



編集後記

定期試験が終わりますはひとやすみというところでしょう。しかし四年目の皆さんは休む暇なく就職試験の準備で大変のことと思います。図書館にもいろいろな企業の内容等を書いた資料がありますので係員に申し出て下さい。

さて前号で先に行った『図書館だよりのアンケート調査結果』を載せましたが、私たち編集委員もこの調査結果を尊重し、できる限り皆さんの要望を取りあげていきたいと思ひます。この号には、しばらく休んでいた「私の出会った本」を経済学部教授で経済統計学を担当している高岡周夫先生にご執筆いただきました。また3巻2号(夏季号)で『だより』に掲載する原稿を募集しましたが、多くの学生さんから原稿をお寄せいただき、編集委員一同喜んでおります。スペースの関係で2名の原稿を載せました。これからも図書館に対するご意見・ご要望をお寄せ下さい。

北海学園大学附属図書館報「図書館だより」Vol.3 No.3 (通巻79号) 1981年10月1日発行

北海学園大学附属図書館発行 062 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 電話 011-841-1161 (代表)

内線、総務係 272 整理係 273 閲覧係 274 ~ 275

工学部分室 064 札幌市中央区南26条西11丁目 電話 011-561-2911 (内線 64)